

事案名	鹿児島市の事案（鹿児島県46-1）
分類	発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	・証言〔1〕 ・「調査結果報告書」平成15年8月28日〔2〕
資料内容概要	<p>昭和24年頃鹿児島県鹿児島市内の防空壕に弾薬等の物資があり、そこには「目の痛くなるような品物」があったとの証言がある。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言によれば、証言者は、昭和24年ごろ鹿児島市にあった福祉施設にいたが、近くの洞穴（防空壕）に弾薬や他の物資があり、そこには「目の痛くなるような品物」（毒ガスかどうかの確認はされていない）があった〔1〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の跡地は現在住宅造成用の調整池となっており、周辺部も大規模な開発が行なわれている。洞穴の場所は、現在、公営交通事業所付近と推定されるが、洞穴があったとする山は造成されて存在していない。これとは別に、もう1ヶ所洞穴が存在していたというが、そこは住宅団地になっており、造成を行なった元関係者によると、工事中に防空壕跡を確認しているが特に何もなく、防空壕跡はコンクリート詰めにしたという〔2〕。